

## 平成21年度 事業計画

株式会社エフエム新津の平成21年度事業計画を、下記の通りとする。

### )運営方針

内閣府・日銀とも、景気は急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。とし、先行きについては当面、悪化が続くとしている。

加えて、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式市場の変動の影響など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。と警告を発している。

そんな中、秋葉区役所と協働で設置した「緊急告知ラジオ」も今年で3年目を迎え、導入ラジオも1,000台を超えた。現在は自治会・民生児童委員への貸与となっているが、時機を見据えて自社販売も考慮したいと考えている。

国土交通省を始め、各行政も出稿を差し控えている現状を、しっかり把握し、新たな販路・業務内容の見直し等々、今後の課題は大きい。

今年は開局15周年。この好機をチャンスに変え、営業販路の拡大に繋げるべく鋭意努力します

### )平成21年度の課題

#### (1)災害情報提供への基盤構築

\* 秋葉区役所と協働で設置した「緊急告知ラジオ」の第3弾を実施する。

自治会・民生委員の協力で、起動実験を毎月第3日曜日9時から放送する。

\* 消防署からの「火災情報」が消防車出動と共に即刻報道できる体制が完備され住民にも浸透してきているが、少人数のため夜間の報道対応が不可であることから、割込み装置の購入が望まれる。

#### (2)ホームページの内容充実

\* ホームページと連動した広告展開の拡大

\* 難聴エリア・エリア外聴取者対策としてホームページから音声ダウンロード拡充  
「ポッドキャスト」の活用拡大

#### (3)商店街活性化イベントのサポートと営業展開

\* 第3回を迎えた「にいつ食の陣」(6月)も、恒例化してきており、商工会議所を中心として商店街も活気を見せ始めた。街頭取材やインターネット案内等で、弊社も参加、営業ツールとしても活用し、地域住民と一体となった取組に参加することで営業展開を強化する。

#### (4)可聴地域からの誘客をめざす遠方企業への営業アプローチ強化。

### 平成21年度 収支予算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

消費税込み表示

科 目	H21年 予算額
事業収入	60,000,000
事業支出	59,290,127
営業費用	59,290,127
番組費	9,685,640
技術費	4,119,668
販売費	6,957,700
人件費	28,996,375
管理費	9,530,744
営業外費用	0
法人税	319,500
当期損益	390,373
累計損益	22,561,785

単位：円